

令和4年度 第5回国分寺市介護保険運営協議会 会議録

令和5年2月28日（火）

午後7時～午後7時58分

いずみプラザ 講座室

協議会次第

1 開会

2 議題

①地域密着型サービス事業所の指定について（資料1，2）

②令和4年度国分寺市介護保険運営協議会活動報告書（案）について（資料3）

③令和5年度国分寺市介護保険運営協議会活動計画書（案）について（資料4）

3 報告

①隣接市の地域密着型サービス事業所の指定について（資料5）

②その他

4 閉会

出席者等（敬称略）

会 長…… 橋本 正明

副会長…… 本多 勇

委 員…… 林 博巳，升田 範夫，森 弘達，分部 文恵，富樫 美紀，
鈴木 美重子，八木 亜希子，清水 桂司，前出 禎造，奥山 尚，
富井 友子

事務局…… 福祉部長（横川），高齢福祉課長（澤田），計画・事業推進係長（佐瀬），
介護保険係長（北田），計画・事業推進係（大嶽）

1 開会

省略

2 議題

①地域密着型サービス事業所の指定について

橋本 会長… 1点目の議題、地域密着型サービス事業所の指定についてということですが、二つの事業所はいずれも指定更新となりますので、事務局からの説明もありません。資料は、資料1と資料2となりますので御覧いただければと思います。何か御質問ございますでしょうか。

それでは、2件の事業所の更新について承認させていただきたいと存じます。

②令和4年度国分寺市介護保険運営協議会活動報告書（案）について

橋本 会長… 2点目の議題、令和4年度国分寺市介護保険運営協議会活動報告書（案）について、事務局、御説明お願いいたします。

計画・事業推進係 大嶽… 令和4年度国分寺市介護保険運営協議会活動報告書（案）について、御説明いたします。資料3の2ページをお願いいたします。こちらに令和4年度の活動総括を記載しております。今年度につきましては、第8期計画の2年目にあたることから、第9期介護保険事業計画の策定に向けて実施する各種基礎調査の内容を中心に御協議いただきました。そのほかの報告内容につきましては、2ページに記載があるとおりとなります。

おめくりいただきまして3ページをお願いいたします。今年度の主な協議事項と報告事項は3点ございます。1点目が第8期介護保険事業計画の進捗管理等について、2点目が各種基礎調査について、3点目は地域密着型サービスの指定等の確認についてです。

2点目の各種基礎調査については、その概要として調査の種類及び対象者は前回調査と変更がないこと、前回調査からの変更点として、調査の回答は郵送だけでなくインターネットでも行うことができることを御説明いたしました。今回行った各種基礎調査については、3ページに一覧表を掲載しており、表の右端の「配布数」には実際に配布した数を記載しております。

各種基礎調査の調査項目については、第2回及び第3回協議会で委員の皆様から御意見を頂きました。

4ページを御覧ください。国が示している調査票との関係については、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」は国から示されている調査票を基本とし、市独自の設問を追加する形で調査を実施すること、集計結果については国のシステムにデータを入力し、全国の

データとの比較・分析を行うことを御説明いたしました。協議会で頂きました主な御意見については、4ページに一覧を掲載しておりますので後ほど御確認ください。

5ページから6ページには、市から協議会への諮問事項を掲載しております。

7ページから9ページまでは、協議会の各回の活動概要を記載しております。なお、9ページの第5回、本日の協議内容等につきましては空欄となっておりますが、本日の協議を踏まえて追記したものを確定版とさせていただきます。

10ページ以降については資料編で、委員名簿、介護保険条例の抜粋、各回の配布資料の一覧となっております。

簡単ではございますが説明は以上となります。活動報告書（案）について、こちらの内容でよろしいか、御審議のほどよろしくお願いいたします。

橋本 会長… 今年度のこの協議会の活動報告書であります。何か御質問や御意見ございますでしょうか。

升田 委員… 実は私が各種基礎調査の対象者になりまして調査票が届きました。即刻答えさせていただきました。答える方法が郵送、パソコン、スマホの3通りありましたので、パソコンで回答してみたのですが、回答ページのアドレスが長くて入力するのが大変だったので、もうちょっと短くしていただきたいと思いました。スマホの場合だとカメラで2次元コードを読み取ればスムーズにアクセスできるのですが、パソコンの場合はちょっと入りにくかったです。

それから、アンケートに対するお礼状が届きまして、良い取組だなと思いました。文面が「高齢者福祉に関するアンケートご協力の御礼」となっていたので、「自分がアンケートを出したのが分かるのかな」と思ったら、後半は「ご回答をいただいている方につきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、2月28日までにご回答いただきますようお願いいたします」という文面で、督促状になっていました。お礼状のふりをして督促しているのは非常に良い作り方だなと思いました。

回収率は何パーセントぐらいか、もう分かるのですか。まだ分からないのですか。

橋本 会長… 本日が締切ですよね。林委員には届きましたか。

林 委員… 私には来なかったです。パソコンでアクセスするときのアドレスがすごく長いと、それを打ち込むのはちょっと。

升田 委員… 年寄りにはね。

林 委員… 至難の技だなと思いました。スマホを持っている高齢者の方もそういらっしゃらないでしょうから。

- 橋本 会長… 事務局，まだ本日が最終日だから途中といえば途中なのですが，今の升田委員の御感想に何かコメントございますか。
- 佐瀬 係長… 調査を2月初旬に送付した後，パソコンでの回答の際にアドレスを入力するのが大変だというお声を頂きまして，急遽，市のホームページから調査回答ページへのリンクを作成しました。しかし，リンクを作成したことをアナウンスすることはできなかったものですから，大変だというお声を頂いたときにそちらを御案内する形で対応していたところでした。次回以降，3年後になりますが，同じようにインターネットでの回答を受け付けるときには，まず市のホームページを御案内して，そこから調査のホームページにアクセスできるようにしておけば簡単になるのかなと考えております。その点は今回の反省点かなというところですね。スマートフォンだと当然2次元コードを読み取ってそのままアクセスできるのですが，パソコンだとどうしても2次元コードを読み取ることができないのでアドレスを手入力することになってしまいます。検索サイトから検索して見つけられるページにもなっておりませんし，アドレスを短くできるかという点，調査を作成する専用サイトを使っている関係で，アドレスが自動で生成されてしまうので，短くすることができなくて，そこがちょっと悩んだところではありました。
- 回収率については本日までの速報値になるのですが，5割を少し超えるくらいになっています。前回の調査全体の回収率が約68パーセント，今回は56パーセントくらいになっております。調査を送った直後ぐらいにちょうど今，騒がれている関東地方を中心とした連続強盗事件がありまして，その関係で犯罪グループがアンケートを装って個人情報を集めているという報道がたくさんされていたものですから，それで不安になって電話をかけたというお声をたくさん頂きました。前回よりも10パーセントくらい回収率が低くなっていますので，おそらくその影響でアンケートに答えるのがちょっと不安になってしまった方がいらっしゃるのかなと考えております。それでも56パーセントというのはアンケートの回収率としては高い数字ですので，多くの皆様に御協力いただいたのだなという印象を持っています。
- 橋本 会長… アンケートについて，皆さんのところで何かちょっとこんなことありましたというのはございますか。利用者の方でも。あまり聞きませんか。
- 森 委員… アンケート以外のことで伺いたいのですがよろしいですか。この活動報告書は国のガイドラインみたいなものに基づいて作っているのでしょうか，それとも市の方針で作っているのでしょうか。
- 橋本 会長… 協議会で協議するテーマ等について国の指導があつてのことなのかどうなのかという御質問かと思いますが。

- 森 委員… テーマというか、報告の形式というのでしょうか。
- 橋本 会長… 事務局，いかがですか。
- 佐瀬 係長… こちらの形式はフォーマットがあってそれに基づいているものではなくて、あくまで国分寺市独自のもので、この形が基本的には今まで続いている形になりますので、過去の運営協議会から基本的にはこの形で御報告させていただいているものになります。
- また、運営協議会でお話する議題などについては、大枠については市の介護保険条例で定められていますが、細かなものについては定められているものではありません。
- 奥山 委員… この報告書はどこに出すのですか。市議会ですか。それとも市民にもオープンになるものですか。
- 佐瀬 係長… こちらの報告書については、運営協議会の各会でこのような資料を配布して議論をしましたということで、後日、市のオープナーに配架し、市のホームページにも掲載します。こちらの報告書については、今回御審議いただいております。来年度の第1回運営協議会で報告書が確定したという御報告を例年させていただいております。その際に、報告書と、このあとに御審議いただく来年度の計画書の確定版については資料として配布いたしますので、それを市のホームページとオープナーで再び公開するという形になります。基本的にはこの案の状態から大きく変わることはないと思いますが、それが市のホームページとオープナーに配架されることとなります。
- 前出 委員… 先ほどの各種基礎調査の話に戻りますが、インターネットでの回答ページは、インターネットで検索しても見つからないということですよね。そうすると、長いアドレスを打たなければいけないという話だったのですが、現在は「国分寺市役所」と検索すれば入れるということなのですか。
- 佐瀬 係長… 各種基礎調査の回答ページを掲載しているホームページ自体は、東京都の共同運営サービスで提供しているもので、それを市として利用しております。したがって、国分寺市のホームページとは別のものになるので、市のホームページを検索しても出てきません。先ほど御説明したとおり、現在は市のホームページにその調査に関するページを作って、そこから外部リンクとして回答ページに直接アクセスできるようにしております。
- 升田 委員… 2次元コードはスマホで読み取れるのでいいのですが、パソコンの場合は、書いてある回答ページのアドレスが長くて、入力するのがお年寄りにはちょっとつらいと思います。
- 前出 委員… 若くても難しいと思いますよ。
- 橋本 会長… そうですよね。回答方法は三つありますが、現時点ではどのくらいの比率ですか。

- 佐瀬 係長… やはり郵送のほうが圧倒的に多いです。先ほどの速報値にはなりますが、約5パーセントがインターネット、約50パーセントが郵送での回答という形になり、回収率は合計で56パーセントぐらいです。
- 富井 委員… 活動報告書についての意見です。今年度何回も皆さんお集まりくださって議論していったのですが、7ページ以降の活動概要で、報告事項に関しては「報告を受けました」という一言でまとめられています。実際はそれに対していろいろな委員の方から御意見がたくさん出ていたかと思えます。そういったものがこの活動報告書から切り捨てられてしまっているのはいかがなものかなと思っています。第9期の事業計画を立てる体制、在り方について御意見があったときもありましたし、介護保険の保険料や基金についての意見もありましたが、そういったことが一切ここには書かれていない、意見が出たことすら書かれていないような状況で、実際は会議録を見ればそういった意見が出ていることは分かるのですが、「報告を受けました」という文言、私たちは受けただけだったろうかと思うと、そうではなかったのではないかなと思いました。
- 橋本 会長… いかがですか。もう少し丁寧に作ってほしいとの御意見ですが。
- 佐瀬 係長… 概要みたいになってしまっている部分がありますので、こちらについては今までずっとこの形で報告書を作成してきたところではありますが、御意見を頂いたので、具体的にどのようにできるかは分かりませんが、考えてみようかと思えます。
- 橋本 会長… 良い御意見を頂きました。事務局、御検討をお願いいたします。それではよろしゅうございますでしょうか。本多副会長、いかがですか。
- 本多 副会長… 富井委員の御意見は良いと思えます。議事録は結構細かく逐語で出されているので、なかなかそれをまとめるのは難しいと思えますが、こんな論点が出たという箇条書きでいいのではないかと思います。
- 橋本 会長… 事務局もそれは御検討ください。

③令和5年度国分寺市介護保険運営協議会活動計画書（案）について

- 橋本 会長… それでは、3点目の議題、令和5年度国分寺市介護保険運営協議会活動計画書（案）について、事務局、御説明お願いいたします。
- 計画・事業推進係 大嶽… 令和5年度国分寺市介護保険運営協議会活動計画書（案）について、御説明いたします。資料4を御覧ください。1ページには主な活動内容を記載しており、まず（1）の「第8期介護保険事業計画の進捗管理等について」は、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価等検討委員会の報告をもとに、主に介護保険事業に関する施策・事業の進捗管理及び課題抽出を行い、事業計画の策定及び円滑な制度運営に向けて協議いただきます。なお、来年度につきましては第8期計画の3年目、最終年度に当

たります。

(2)の「第9期介護保険事業計画の策定に関することについて」は、令和4年度に行いました各種基礎調査の結果から市の現状を把握し、主に介護保険事業に関わる傾向や課題を整理します。また、主として介護保険サービス量の見込み、介護保険料の設定、介護保険事業の円滑な運営に向けた施策等について扱い、高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の一体的な策定に向けた協議をしていただきます。

(3)「地域密着型サービスの指定等の確認について」は今年度と同様になります。

2ページは、主な議題及び報告事項です。一番上に令和5年度に扱う議題、真ん中に参考として過去3年分の議題を、一番下に令和5年度の報告事項を記載しております。

おめくりいただきまして、3ページが協議会のスケジュールになっております。委員の皆様には既に御連絡しておりますが、令和5年度は協議会を6回開催し、日程は記載のとおりとなります。

2ページは、主な議題及び報告事項です。一番上に令和5年度に扱う議題、真ん中に参考として過去3年分の議題を、一番下に令和5年度の報告事項を記載しております。

簡単ではございますが説明は以上となります。来年度の活動計画書(案)について、こちらの内容でよろしいか、御審議のほどよろしく願いいたします。

- 橋本 会長… 何か来年度の事業計画について、御意見ございますでしょうか。
森 委員… 1ページの(2)、第9期介護保険事業計画の策定について、市の担当部署で作られていると思うのですが、このような今後の計画には市議会の委員会などの要望が入っているみたいなことはあたりするのですか。
- 橋本 会長… 計画づくりもまた別の委員会がありまして、そこで基本的に案を作ることになるのですが、市の考え方や市議会の関わり方について御説明いただけますか。
- 森 委員… 福祉にどれだけ力を置くとかというのは市町村によって若干違うと思うのですが、そういった何か。
- 橋本 会長… 介護保険の事業計画ですけどね。
森 委員… こういうところに重きが置かれる方向で策定していきますみたいなことは、何か大きな点があるのかどうか。ちょっと難しい話なのですが。
- 橋本 会長… では、計画をどのように作っていくかということですかね。
森 委員… 市民の側からすると、市で作ったものがある程度自動的に作られているのか、それとももう少し政治的なこともあるのでしょうか、そういった施策の中に市の与党の方針の柱が生かされているとかいないとかというのは

あまり見えないので、そのこのところがどのように作られているのか、民意としては気になるという分かる範囲で教えていただければ。

橋本 会長… 大きいところはやはり保険料をどうするかということが入ってくるのですけどね。事務局、少し御説明いただけますでしょうか。

佐瀬 係長… まず、計画そのものの策定のプロセスになるのですが、先ほど会長がおっしゃったように、計画を策定するための策定検討委員会を立ち上げています。こちらは昨年末に第1回の委員会を開催しまして、次回は来年度に開催する予定になっているのですが、基本的にはそこで事務局と一緒に検討を深めていくこととなります。その策定検討委員会で検討するための御意見などをいただく場として、例えばこちらの運営協議会、先ほど話題になった各種基礎調査の結果や御意見、関係団体懇談会といって市内の関係団体、例えば医師会、歯科医師会、薬剤師会からも御意見を頂く場を設けます。それからパブリック・コメントを実施します。こちらは計画案を一般に公開して広く御意見を頂くものになります。計画案を公開するときには市議会にも御報告をして、御意見を頂くというプロセスを踏むこととなります。それから、現行の第8期計画について、事業の進捗状況評価を評価等検討委員会で行っております。そちらでの御意見、次期計画策定に向けた意見というような欄も評価票に設けておりますので、評価等検討委員会での御意見も策定検討委員会に報告する予定でおります。いろいろなところから御意見を頂いて、策定検討委員会でまとめて案を作って、それを市民の方にお示ししてパブリック・コメントを実施して、そこで市議会でも御意見を頂いて最終的な計画として策定するという、大まかな流れとしてはそのような形になります。

橋本 会長… この計画は議会の承認事項になるのですか。

佐瀬 係長… あくまで市の計画について決定するのは市になりますので、市として決定をして市議会に御報告をする。ただし、当然御意見を事前に頂くこととなります。

森 委員… あとは、この計画の流れで国との関係もあるでしょうが、予算が決まっていっていかそういうことなのですかね。分かりました。

橋本 会長… これは介護保険に限ったことですから、福祉全体ということではありません。介護保険は、基本的に財源は介護保険法の中で決められていることがありますよね、お金の集め方も。お金の使い方はそれぞれ検討することになります。

升田 委員… 森委員が質問した内容に関係するのですが、ここは運営協議会ですが、これに関連する評価等検討委員会と評価項目を決める委員会が別途ありますよね。もともとこの運営協議会で全部やるといいなというのは前から思っておりますが、そうやって三つの委員会を作るのは、介護保険法で決

まっているのか、それとも市として条例で決めてこういうふうになっているのかをお聞きしたいです。

佐瀬 係長… 運営協議会だけは条例で設置をしています。計画の策定については各自自治体で方法が違いますので、国分寺市としては評価等検討委員会、先ほど評価項目を決めるとおっしゃっていましたが、それは計画を決める委員会になりますので策定検討委員会になります。その二つについて、国分寺市では要綱で設置をしていますので、条例や法律ではないです。

升田 委員… つまり、変更して運営協議会だけで全部やるということも可能なのですか。

佐瀬 係長… 技術的には可能になります。

升田 委員… できればこの運営協議会を通した形で運営するほうが適切な運営ができると私は前から考えております。わざわざ評価だけを分けるとか項目だけ分けるとか、この中で項目は大体決まるはずなので項目を決める人だけが別にいるというのがちょっと解せない。

橋本 会長… 計画ですか。介護保険運営協議会は条例で決まっている仕組みです。

升田 委員… ここで協議してその中で完結するのであればそれが一番いいと思います。わざわざ機能分化して要綱でやるよりも、ここの皆さんで検討したほうがその内容も項目も皆さん理解できるし、評価の結果をここで出されるよりも、評価する段階で皆さんが関わるほうが本当はいいと思うのですね。できれば。

橋本 会長… 介護保険制度ができるときに、介護保険の事業は本当に地方自治の一つのモデルになると言われていたのですよね。ですからそれぞれの自治体で、法律で決まったことではありますが、運営については市の考え方で決まってくることになります。ちなみに私はほかの自治体で同じことをやっているのですが、そこは介護保険運営協議会で事業計画も一緒に立てるのです。だからそういうところもある。それは本当に市の考え方がありますね。ただ、計画の評価はやはりほかの委員会でするほうが一般的には良いのだろうと思います。ですから、とにかくそれは国分寺市としての介護保険の運営についての考え方が基本にあるということでもありますよね。

升田 委員… 運営で皆さんの意見をうまく反映するにはここでやったほうがいいのではないかなというのが私の意見です。以上です。

橋本 会長… そういう御意見ですね。

林 委員… 評価等検討委員会というのがよく分からないですが、その評価等検討委員会のメンバーと、この運営協議会のメンバーは違うのではないですか。その評価等検討委員会の委員は誰が集まっているのですか。

佐瀬 係長… 評価等検討委員会の委員は市の要綱で運営協議会から選出することになっていますので、こちらのメンバーの中から委員になっていただい

ます。

- 林 委員… では確かにおっしゃるとおり分ける理由はあまりない。
- 森 委員… 本日開催している会議体は法定事項だが、その計画と評価については市のオリジナルな部分というのが別にあるという理解でいいですかね。
- 橋本 会長… そうですね。どういうふうに作っていくかということですよ。部長、何かコメントありますか。非常に市の考え方に関わるところなので。
- 横川 部長… 御意見ありがとうございます。各自治体やはりいろいろな考えの中でやってきているというのがあります。本市も10年はたっていないと思うのですが、実はそれまでは評価する組織はなかったのです。それで議会等からの御意見を頂きまして、評価をする組織を立ち上げたという経過があります。

もう1点は、この介護保険運営協議会は法定事項であります。基本的には介護保険の事業計画、その運営について検討する、関わっていく組織という位置づけなのです。この計画自体は御存じのように介護保険事業計画だけではなくて、私ども「一般施策」という言い方をしていますが、介護保険制度外の高齢者施策について高齢者保健福祉計画というのを合わせて策定をすることになっております。したがって、それを例えば介護保険運営協議会で併せて担っていただくという方法もありますが、私どもとしては、今のところそこは分けてやっていく。介護保険事業計画と高齢者保健福祉計画というのは、やはり一体的に策定をしていかなければならないということがありますから、その計画を策定する組織は1本でやっていくという整理をしたのです。評価の部分については、評価等検討委員会をお求めがあって立ち上げたのですが、今は介護保険運営協議会の方に入らせていただいておりますが、それ以前はこれもまた別の方々に委員をお願いしておりました。ただ、先ほど升田委員がおっしゃっていたように、やはり普段からこういう形で介護保険について検討していただいている方にやっていただくというのも、それはそれで効率的というか合理的な部分があるのかなというところで、2年前から評価等検討委員会のメンバーについてはこの介護保険運営協議会の一部の方に御協力いただく形でちょっと変えてきているということでございます。

このことについては、ほかの各方面からもいろいろ御意見があると思います。また、各市の状況、それから市も様々な計画を作っておりますので、そういった計画について、その策定や評価について、市民の方々あるいは関係者の方々にどういう形で関わっていただくのがいいのかというのをそれぞれが手探りでやってきているところがございますので、そういったところの成果を踏まえまして、介護保険、高齢福祉部門についても今後さらに見直すべきは見直していきたいと考えております。

- 橋本 会長… そんなことで、決して市が作って押しつけているということではなくて。
森 委員… 私は他県にも住んでいたことがあり、他県で委員を幾つか務めたことがあるのですが、国分寺市は逆に非常に開かれている自治体だと個人的に感じていますので、それを御理解いただければと思います。
- 橋本 会長… いい御意見ありがとうございました。そのほかいかがでしょう。清水委員、何か計画について御感想でも御意見でも御要望でも。
- 清水 委員… 第9期の事業計画についてですが、国分寺市はおそらくまだ高齢者人口や要介護認定率も高まっていくのだろうと。それに合わせてサービス量の確保も当然求められるのですが、昨今、介護職員の確保の大変さもありませんが、ヘルパーの確保がなかなか立ち行かなくて、在宅介護を推進しながらも、その在宅介護の肝となるヘルパーの確保、養成が遅々として進んでいないところを国分寺市としてどのような取組をしていくのか。それによって事業者も対応の仕方を考えなくてはならない。事業計画に注目しながら事業所としても対応しなければいけないので、その辺りは丁寧に意見交換しながら進めさせていただきたいなと思っています。
- 橋本 会長… 事務局からはまとめてお考えをお聞かせいただくことにしましょうか。八木委員、何かありますか。
- 八木 委員… 昨今、リハビリなどもニーズが高い中で、私たちが訪問看護ステーションの位置づけでリハビリを提供しております。そのニーズに対してそれを提供する事業者、特に在宅のほうだと訪問看護からのリハビリはだんだん増えてはいますが、デイケアのような、施設でリハビリを提供するところがなかなか進んでいない印象も受けております。やはりニーズに対してのサービスの提供というのをどのように具体的に推進していくのかということもあるといいのかなということは感じました。
- 橋本 会長… 鈴木委員、何かありますか。今の関係の御意見でも。
鈴木 委員… ちょっと違うかもしれないのですが、利用者の災害時の連携などについてあまり私たちのほうに情報が入ってこないのですね。私たちは私たちなりに毎年利用者の所在地と集合場所、在宅で何人生活していて、水などを確保できているかというチェックは、自分たちの事業所では行っております。施設では避難訓練などがあるのですが、広範囲での在宅のお年寄りなどの災害時の動きやどこに連携を取ったらいいのかというのが全然情報が入ってこないで、運営協議会にはあまり関係ないかもしれませんが、そういう連携のあり方も知ってほしいなというのがあります。
- 橋本 会長… たぶん、地域包括支援センターが大きな役割を果たすことにもつながるでしょうかね。
- 鈴木 委員… そうですね。だから地域包括支援センターかなと思うのですが、そこからの動きや連携があまり広がっていないので。一時は盛り上がったのです

が、後がちょっと続いているので。いつか災害があるだろうというのを予想すると怖いので。

橋本 会長… 富樫委員，いかがですかね。

富樫 委員… 鈴木委員と同じような意見になるかもしれないのですが、やはりアンケートの項目にもありましたが、地域によっての格差というものが国分寺市はどうしても目立ってしまっている。現場に入っている私たちから見てしまうと、駅前の開発が進んでいく一方で、表現が違ってもかもしれませんが取り残されてしまっている地域がある。地域包括支援センターの方たちが各センターで抱えている悩みと悩まれている方たちの人数や問題点が隠れてしまっている部分がまだまだあると思います。そこが地域ケア会議のようなものを、もう少し私たち事業所も含めてですが、市民の方たちとの関わりというかみんなで考えていく場が、今後、まち全体で災害が起きたときにこの地域でどうしようとかそういった把握、確認が事業所も含めて利用者、住民の方々と一緒にできていくと、国分寺市を広い目で見たとときに、こちらの地域は公共交通機関が発展しているからとか、そういった災害時の避難場所や何かの連絡のルートも確保していけるのかなとは思っています。

できれば第9期に、地域包括支援センターの意見も、今も十分に吸い上げてくださっていると思いますが、地域包括支援センターを管轄として細かい地域での話合いの場、協議をする場というような意見を吸い上げる場面がもう少し細かくできていくと、より住みやすいまちになるのかなと感じております。

橋本 会長… 分部委員，何かあれば。

分部 委員… 運営協議会自体が扱っているのがとても大きなテーマで、ベースがないものであまり関わりきれていないことについて申し訳ないと思いつつも参加しているのですが、岸田首相が「異次元の少子化対策に取り組む」と言っていますが、現実として高齢化は加速しています。私たちぐらいの年代ですと、やはりいつまで生きるかではありませんが、いつまでお金がかかるのか、介護はどうなるのかとかいろいろ心配なこともあります。やはり安心して老後を暮らせるようなところが見えていくと、国分寺市は安心ができるというか、そういうことを思っています。

橋本 会長… そのとおりだと思います。ありがとうございました。今の議題は、この運営協議会としての来年度の事業計画ですが、皆さんからお話があった第9期介護保険事業計画の中身については、基本的に各種基礎調査などをベースにして来年度作り上げていくこととなります。来年度、この運営協議会に中間でも御報告があり、その段階で話題の意見も出していけるかと思えます。

事務局いかがでしょうか。第9期の事業計画についてのたくさんの要望

などをいただきましたが、そのことについての市のお考え、それから地域包括支援センターは地域包括支援センターでいろいろな活動をして、市も大変強く指導しているところもありますが、その御案内などについてコメントいただければと思いますが、いかがでしょうか。

佐瀬 係長… 非常にたくさんの御意見を頂きましてありがとうございます。最初にお話のあった人材の確保についてですが、第7期の計画から基本目標を市としてもともと四つ掲げていたのを五つに増やして、新たに「高齢者を支える人材を確保・育成する」という基本目標を掲げております。第8期計画までつながっています。第9期についても基本的には同様に、特に人手不足について、現場でなかなかヘルパーが足りないという話をたくさん聞きますので、目標として掲げていくことになるだろうと市としても考えているところです。

それから、災害への備えについても、第8期計画の基本目標として「だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める」がありまして、そこで触れていくことにはなるのですが、地域差が出てくるというお話もありましたので、各種基礎調査については、基本的に市としては地域包括支援センターのエリアごとに集計をして、地域差を見ていく作業をする予定です。集計結果をお示しして、こういった課題があるかといったことを今後議論していただくこととなります。

橋本 会長… 事務局は受け止めていただいて、来年度のこの運営委員会もですが、計画策定検討委員会のほうでも私どもの考えを乗せてくださるように、事務局にお願いをしておきたいと思います。

それでは、来年度の事業計画についてはよろしゅうございますでしょうか。では、御了解いただけたということにさせていただきたいと存じます。

一言感想ですが、やはり人材というのは非常に大事で、特に人材の中でもヘルパーのことについては本当に大変なことになるだろうと。今、住み慣れた地域で在宅生活を続けることを目標として様々なことを検討しているわけですが、やはり支えているベースはヘルパーでありますから、それは私の立場からも非常に心配していることです。

もう1点は、介護保険というのは要介護になった方々をどう支えていくか、介護サービスを提供していくかなのですが、やはりだんだんよく見えてきたのは、介護者への支援がどうできるかということかと思えます。これは介護保険制度の中にそういう考えは、最初の考え方では基本的にないのですね。保険ですから、本人に対してですからね。だけど実際には要介護になった方の生活を支えるのは「誰が」ということではないかと。専門のケアスタッフもいるし、御家族もいるし、近隣の方々かもしれない。とにかく介護者支援がとても大事なことではないかなというのは私の感想で

す。ヤングケアラーのことも話題になりますが、結局あれは介護者の問題なのですよね。そのあたりは介護保険の性格からいって、なかなか具体的に強い仕組みができませんが、ドイツや韓国では介護者支援には金銭給付がついております。これは私の個人的な感想ですが、介護者に対する支援はとても大事なことで、今の介護保険の枠内ではとても難しいなと思いつつながら、それが私の感想といえは感想だということをちょっとつけ加えさせていただいて。地域共生社会ということでみんなで頑張りましょうということなのですが、具体的なことがないとスローガンだけではいけないというのが実態ではないかなというのが感想でもあります。

3 報告

①隣接市の地域密着型サービス事業所の指定について

橋本 会長… 1点目、隣接市の地域密着型サービス事業所の指定については、事務局の説明は省略ということで資料5が添付されております。御承知のように、ほかの市にある事業所を国分寺市民も利用できるというものになります。御了解いただければと思います。

②その他

橋本 会長… 2点目、その他でございます。事務局、よろしくお願いします。

計画・事業推進係 大嶽… 3点お伝えいたします。1点目が、先ほどから少しお話が出ておりますが、各種基礎調査の進捗について御報告いたします。こちらについては、前回1月10日の介護保険運営協議会でお示した調査票を2月1日に対象の方に郵送で送付いたしました。回答期限は本日、2月28日までとしております。また、2月中旬にはお礼状兼勸奨状をはがきで対象者全員に送付いたしました。今後につきましては、回収した調査票の集計、分析作業を行い、在宅介護実態調査については7月末、介護保険・日常生活圏域ニーズ調査については8月中旬、それ以外の調査につきましては5月中旬をめどに報告書を作成する予定となっております。1点目のその他事項については以上となります。

続きまして、2点目、前回の会議の際に回収いたしました介護保険運営協議会のオンライン開催のアンケート結果について御連絡です。オンライン開催と会場開催を併用して介護保険運営協議会を開催する場合、オンラインで出席のほうがよいと回答していただいた方もいらっしゃいましたが、一方で会場で出席のほうがよいと回答していただいた方もいらっしゃいました。事務局としましては、この結果を受け、来年度、令和5年度開催の介護保険運営協議会につきましては、6回の全ての会議についてオンラインと会場開催を併用するハイブリッド形式で行うこととしたいと考えております。このため、会場準備の都合から次回以降につきましては各回につ

いてオンラインでの御出席か会場での御出席かについて、委員の皆様にも毎回確認させていただくこととなりますので、御協力をお願いいたします。

3点目につきましては、次回の協議会の日程についてです。次回が来年度になりまして、6月6日火曜日、開始時間は午後7時からとなります。会場については、いずみプラザが他課の会議のため予約が取れなかったため、次回の6月6日の会議のみ国分寺駅北口にあるcocobunjiプラザのリオンホールとなります。お手数をおかけして申し訳ありませんが、よろしくをお願いいたします。以上となります。

橋本 会長… 来年度は実験的にといいますか、とにかく会場とオンラインの併用で開催することになります。私から申し上げればなるべく御出席いただきたい。新型コロナウイルス感染症の流行は収束の方向に向かっていますが、来年度はひとつ実験的なことでやってみるということでもあります。

それでは、会で準備された議題内容についてはここまでといたしまして、本多副会長、本日はいろいろ論議がありましたので、最後にコメントを頂ければ。

本多 副会長… 特段。十分な論点がたくさん出たなと思いながら聞いていました。ここ最近のニュースで、一つは生活保護の精神疾患を抱えている人たちの退院の半分以上が死亡退院であるような都内の精神科の病院の状況がNHKで報道されて社会的に明らかになってきている。あれは氷山の一角なのだろうなと考えたときに、あのような病院はおそらくたくさん存在しているのだろうなとは思いますが、そういうところに行く手前の段階で、健康に地域で暮らせるというのがやはり大事なところだとするならば、先ほどのヘルパーの課題や地域の中における支援というのはすごく大事なところだなと感じたのが1点。

それから、フェイスブックで、鎌倉で若年性認知症の方が行方不明になったので、写真を掲載して連絡をくださいというのが拡散されてきておりまして、それは鎌倉で唯一若年性認知症の方が迷子になったというケースではおそれないと思うのですね。国分寺市内でも時々報道とか情報共有されなくてもそういうケースはあると思います。やはりそういう方々が認知症を抱えながらも安心して暮らせる地域を作っていくというのはやはりすごく大事なことだと思うので、そのためには先ほど橋本会長がおっしゃったように介護者支援、介護をしている人がいっぱいいっぱいにならないように地域で見渡したりサポートしたりし合うという生活圏域がすごく大事になってくると思います。その下支えとして介護保険や高齢者福祉の計画もしっかりですし、さらには来年度以降、重層的支援体制整備が始まる中において、おそらく地域の中の困りごとが地域包括支援センターに集まりやすくなってくると思います。子どものことも障害のこともあると思

うので、そうすると地域包括支援センターの皆さんの負担にもなりますし、ないしは別の視点から地域ごとのいろいろな課題のあぶり出しが出てくるかもしれません。その意味においても介護保険の基盤づくり、維持と整備が大事なことだと思うので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。それから、一つ気がかりになっているのは、老健がどうなったかなとずっと思っているところで、進捗があるといいなと思っております。

4 閉会

橋本 会長… 今年度5回の協議会、御協力いただきましてありがとうございました。来年度もよろしくお願ひいたします。閉会いたします。